

山田 芽映

Yamada Mebae

税務職員 2017年採用

伊万里税務署 個人課税部門

充実した環境の中 日々感じる自身の成長

Question

1 現在の仕事内容について教えてください。

私は個人課税部門に所属しており、調査事務や申告相談事務に従事しています。調査事務では、実際に納税者の方の自宅や事業所に赴いて事業内容を聴取し、帳簿等の関係書類を確認するほか、金融機関等への調査も行い、申告内容が正しいかを確認しています。

毎年2月から3月には確定申告の申告相談事務に従事します。この時期は多くの納税者の方から税法の取り扱いなどの相談を受けます。1年で一番の繁忙期であり、大変ではありますが、その分確定申告期が終わった後に感じる達成感はとても大きいものです。



知識の幅を広げること
広い視野を持つ
ことを心掛けて
います

Question

2 仕事をする上で常に心掛けていることはありますか。

自身の知識の幅を広げること、広い視野を持つことを心掛けています。税務の現場では、様々な業種の仕事を行う方や年齢の方から直接お話を伺う機会が多くあります。税に関する専門的知識はもちろん大切ですが、相手とスムーズにコミュニケーションを図るために、税に関すること以外にも業界特有の知識等を身に付けられるよう、日頃から様々なことに対してアンテナを高く張り情報収集することが大切だと考えています。

Question

3 税務の職場の魅力について教えてください。

なんといっても税務の職場の魅力は充実した研修制度です。採用後は税務大学校において税法・簿記会計学などの基礎的な研修を受け税務署に配属になります。税務の職場は高い専門性が求められますが、採用後の研修で、税務の仕事をしていく上で必要不可欠な知識をしっかり習得できるので安心です。研修制度の充実に加え、仕事をする上で疑問点が生じた場合は上司や先輩職員に相談しやすい環境も整っているため、実務においても専門的な知識を定着させることができます。また、実務経験に応じた様々な研修が用意されており、日々自身の成長を感じることができます。



Message

私自身、採用前は税に関する専門的知識も納税者対応に必要なコミュニケーション能力も乏しいものでしたが、充実した研修制度と丁寧に指導して下さる職場の上司や先輩方のおかげで、めきめきと力をつけることができました。また、税務の職場は堅苦しいと思われがちですが、実際は、若手職員が気軽に上司や先輩に質問ができる雰囲気があるため安心して働くことができます。充実した職場環境の中、自分自身を成長させたい方は、ぜひ税務職員を目指してみてください。